

施策マネジメントシート

作成日 平成 29 年 6 月 19 日

施策	03 機能的で魅力ある市街地づくり		
施策 主管課	まちづくり整備課	氏名	神宮寺 隆
		施策 関係課	

1. 現状把握 Plan→Do

(1) 施策の目的と指標

<p>① 対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等</p> <p>◇石和温泉駅周辺</p> <p>◇春日居町駅周辺地域</p> <p>◇各地域(石和、春日居、御坂、一宮、八代、境川)の生活圏の中心</p>	<p>③ 対象指標名称 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない (単位)</p> <p>a 石和温泉駅周辺地域(用途地域)の面積 km²</p> <p>b 春日居町駅周辺地域の面積 km²</p> <p>c 各地域の生活圏の中心の面積 km²</p>
<p>② 意図 (対象をどういう状態に変えるのか)</p> <p>◇市街地の魅力が高まり、人々が集まって来る。</p>	<p>④ 成果指標名称 (意図の達成度の指標) 数字は記入しない (単位)</p> <p>d JR石和温泉駅1日当り乗者数 人</p> <p>e 対象地域(6地区)の人口 人</p> <p>f 市街地の魅力が高まっていると考えている市民の割合 %</p> <p>g</p> <p>h</p>
<p>⑤ 成果指標設定の考え方</p> <p>◇対象地域の人口により、市街地の魅力が高まり、人々が集まって来ているかを判断する。また、定住すれば駅の利用者も増える。</p> <p>◇市街地の魅力が高まっているか市民に聞く。</p>	<p>⑥ 成果指標の取得方法</p> <p>◇石和温泉駅1日当り乗車人数は、JR東日本ホームページデータ</p> <p>◇対象地域の人口:年度末の住基行政区別人口の合計(石和町駅前区、春日居町別田区、御坂町栗合区、一宮町末木区、八代町南区、境川町石橋区)</p> <p>◇まちづくり基礎調査⇒設問「笛吹市は市街地の魅力が高まっていると思いますか。」</p>

(2) 指標・事業費等の実績推移と目標値

			23年度 実績、決算	24年度 実績、決算	25年度 実績、決算	26年度 実績、決算	27年度 実績、決算	28年度 実績、決算	29年度 最終目標
対象指標	a 石和温泉駅周辺地域(用途地域)の面積	見込み値	2.35	2.35	2.35	2.35	2.35	2.35	2.35
		実績値	2.35	2.35	2.35	2.35	2.35	2.35	2.35
	b 春日居町駅周辺地域の面積	見込み値	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72
		実績値	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72
c 各地域の生活圏の中心の面積	見込み値	4.71	4.71	4.71	4.71	4.71	4.71	4.71	4.71
	実績値	4.71	4.71	4.71	4.71	4.71	4.71	4.71	4.71
成果指標	d JR石和温泉駅1日当り乗者数	成り行き値	2,588	2,588	2,588	2,588	2,601	2,614	2,627
		目標値	2,590	2,590	2,590	2,590	2,616	2,642	2,668
		実績値	2,566	2,754	2,798	2,785	2,846	2,931	
	e 対象地域(6地区)の人口	成り行き値	5,750	5,750	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900
		目標値	5,800	5,800	5,936	5,954	5,972	5,990	6,008
		実績値	5,901	5,922	5,870	5,874	5,898	5,917	
	f 市街地の魅力が高まっていると考えている市民の割合	成り行き値	23.0	23.0	20.3	20.3	20.5	20.7	20.9
		目標値	24.0	25.0	20.3	20.3	20.7	21.1	21.5
		実績値	17.6	19.7	21.3	-	-	-	
g	成り行き値								
	目標値								
	実績値								
h	成り行き値								
	目標値								
	実績値								
施策コスト	事務事業数		本		2	3	5	4	
	事業費 (A)		千円	144,352	154,386	741,953	922,182	1,048,892	43,671
	うち一般財源 (A')		千円	74,204	41,508	70,207	78,648	109,094	29,378
	人件費 (B)		千円	27,698	30,753	17,085	17,615	21,146	26,916
	トータルコスト (A+B) (C)		千円	172,050	185,139	759,038	939,797	1,070,038	70,587
うち一財 (A'+B) (C')		千円	101,902	72,261	87,292	96,263	130,240	56,294	

(3) 施策の目標設定の根拠 (水準の理由と前提条件)

●後期基本計画策定に伴い成り行き値、目標値の再設定を行った。

◇石和温泉駅1日当り乗車人数:成り行き値はH22年度実績を平成26年度まで据え置き、平成27年度以降は駅舎完成による利便性向上を見込んで微増と設定。目標値も同様に微増と設定。

◇対象地域人口:成り行き値はH23年度実績を据え置く。目標値は過去の実績を維持することとした。

◇市街地の魅力が高まっていると思う市民の割合:成り行き値は平成26年度まで20.3%と横ばいに設定、平成27年度に石和温泉駅周辺整備事業の完成予定により0.2ポイント/年の向上すると見込む。目標値は同様に平成27年度から0.4ポイント/年の向上を見込む。

(4) 施策の役割分担 (住民と行政との役割分担)

<p>ア) 住民の役割 (住民・地域・団体・事業所が、自助・共助でやるべきこと)</p> <p>◇地権者は、適切に土地利用を行なう。</p> <p>◇住民は、地区計画等の景観維持の取り組みに参加する。</p>	<p>イ) 行政の役割 (市・県・国がやるべきこと)</p> <p>◇市は、土地利用計画に基づき、適切な土地利用を誘導する。</p> <p>◇石和温泉駅および駅周辺整備を進める。</p>
--	---

(5)環境変化 (対象者や根拠法令等は5年前と比べてどう変わったのか?)

- ◇住民による景観維持の取り組み意識が高まってきた。
- ◇H21年度に石和温泉駅北口の基本計画を策定した。
- ◇H24年度に駅前区画整理事業が終了した。
- ◇H24年度に石和温泉駅舎の詳細設計を行った。
- ◇H25年度より石和温泉駅舎、北口駅前広場整備に着手した。
- ◇H27年度に石和温泉駅舎、南北自由通路、北口駅前広場完成。

(6)関係者の意見・要望 (住民、議会、対象者、利害関係者等)

- ◇市民から、石和温泉駅周辺については、もっと商業化を進めるべきではないかとの意見がある。
- ◇市民から、石和温泉駅舎を笛吹市の鉄道の玄関口にふさわしい環境にすべきであるとの意見がある。

2. H28年度の施策の実績 Check

(1)施策の成果実績

<p>① 目標達成度評価 (前年度目標値と実績値との比較)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 目標値より高い実績値だった</p> <p><input type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった</p> <p><input type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった</p>	<p>⇒左記の背景として考えられること</p> <p>◇石和温泉駅1日当り乗車数は、目標値 2,642人に対し、実績値2,931人と高い 数値だった。(観光客の増加によるものと思われる。)</p> <p>◇対象地域(6地区)の人口は、目標値5,990人に対し、実績値5,917人と低い数値だった。(駅前区以外の市街化は進んでおらず、急激な人口増に繋がらなかったため。)</p> <p>◇市街地の魅力が高まっていると思う市民の割合は、平成26年度から調査が行われていないため目標達成度評価は行っていない。</p>
<p>② 時系列比較 (過去3か年の比較)</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した</p> <p><input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態)</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した</p>	<p>⇒左記の背景として考えられること</p> <p>◇石和温泉駅1日当り乗車数は、H26年度2,785人、H27年度2,846人、H28年度2,931人と増加傾向となっている。(観光客の増加によるものと思われる。)</p> <p>◇対象地域(6地区)の人口は、H27年3月末5,874人 H28年3月末5,898人、H29年3月末5,917人、(駅前区827、別田区562、栗合区684、末木区619、南区2,491、石橋区734)であり、微増となっている。(市街化の推進により、魅力が増した。)</p> <p>◇市街地の魅力が高まっていると思う市民の割合は、平成26年度から調査が行われていないため時系列比較評価は行っていない。</p> <p>※石和温泉駅周辺の土地価格についても全体的に下落傾向が続いている状況なので同様に下落が続いている。社会情勢等の他の要因からと考えられる。</p>
<p>③ 他自治体との成果実績値の比較</p> <p><input type="checkbox"/> 他自治体と比べてかなり高い成果水準である</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> 他自治体と比べてほぼ同水準である</p> <p><input type="checkbox"/> 他自治体と比べてどちらかと言えば低い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> 他自治体と比べてかなり低い成果水準である</p> <p>自治体名⇒ 山梨市、甲州市</p>	<p>⇒左記の背景として考えられること</p> <p>◇駅乗車数の増加率(H27→H28)を比べると他市より高めだった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石和温泉駅:H27年度 2,846人→H28年度 2,931人 前年比2.98% ・山梨市駅 :H27年度 1,809人→H28年度 1,783人 前年比△1.93% ・塩山駅 :H27年度 2,131人→H28年度 2,081人 前年比△2.34% <p>◇対象地区の人口は、笛吹市にて独自に選定した地区であり近隣市との比較は行っていない。</p> <p>◇市街地の魅力が高まっていると思う市民の割合は、近隣市において毎年同様のアンケートを実施していないため比較は行っていない。</p> <p>●商業地の地価公示又は地価調査価格の上昇率(H28→H29)を比べると減少率は他市より低めだった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笛吹市: 69,800円/㎡(H28)、68,900円/㎡(H29)増減率▲1.28% ・山梨市: 64,300円/㎡(H28)、61,600円/㎡(H29)増減率▲4.20% ・甲州市: 57,100円/㎡(H28)、53,500円/㎡(H29)増減率▲6.30% <p>(地方圏(関東地方)のH28地価公示用途別前年平均変動率をみると、住宅地▲0.9%、商業地 ▲1.0%となっている。)</p>

(2)施策のコスト実績 (対象1単位当たり又は住民一人当たりのコスト)

対象指標名称⇒ 対象地域の面積	(単位)	26 年度	27 年度	28 年度	効率性評価
*対象指標実績値 (D) (一枚目の a+b+c)	km ²	7.78	7.78	7.78	◇平成28年度は、石和温泉駅周辺施設維持管理事業及び空き家等対策推進事業の増はあるものの、石和温泉駅周辺整備事業の完了により、事業費は減少している。 ◇人件費率は、H27年度1.98%に対して、H28年度38.1%から効率はかなり低下している。
*対象1単位当たり事業費 (一枚目 A / D)	円	118,532,391	134,819,023	5,613,239	
*対象1単位当たり人件費 (一枚目 B / D)	円	2,264,092	2,717,995	3,459,640	
*対象1単位当たりトータルコスト (一枚目 C / D)	円	120,796,483	137,537,018	9,072,879	

(3)施策の現状と課題の総括

- ◇H27年度に石和温泉駅舎、南北自由通路、北口駅前広場が完成して駅周辺一体の維持管理に移行した。
- ◇石和駅前交番が平成29年6月に開所になり安全安心な環境整備が進む。
- ◇都市整備の財源として、H24年度から都市計画区域全域に都市計画税を課税する予定はH30年度に延期された。
- ◇将来的には、対象地域(6地区)の整備について検討していく必要がある。
- ◇駅舎(南北通路)や民間による駅周辺駐車場整備により、パーク&レイルライドの利用を促進する必要がある。

3.後期基本計画の取り組み方針(30年度) Action

(1)現状と課題から導き出した次年度の取り組み方針

- ◇石和温泉駅周辺整備が一区切りとなり、維持管理事業に移行するとともに、地域振興を中心に利活用に取り組んでいく。
- ◇駅舎(南北通路)や民間による駅周辺駐車場整備により、パーク&レイルライドの利用を促進する。

(2)施策の対象を、目標に導くための次年度の手段

- ◇対象地域の市街化整備の推進を図る。
- ◇駅利用者の利便性を高めるため、民間等による駅周辺の利活用を促進する。